

ヨルク・シュマイサー (1942-2012) は世界を舞台に活躍したアーティストです。

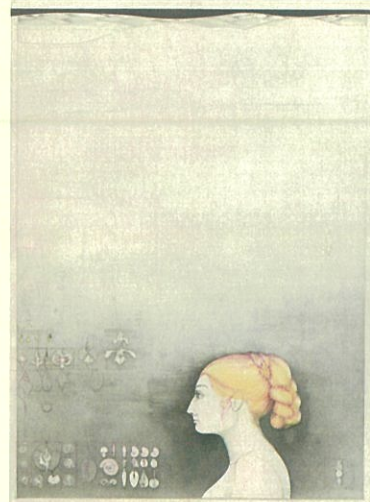
ドイツに生まれ、ハンブルグと京都で学んだのち、オーストラリアを拠点に制作を行いました。

「旅する版画家」と称されるように、世界各地を訪ね、そこでの経験を版に刻みました。

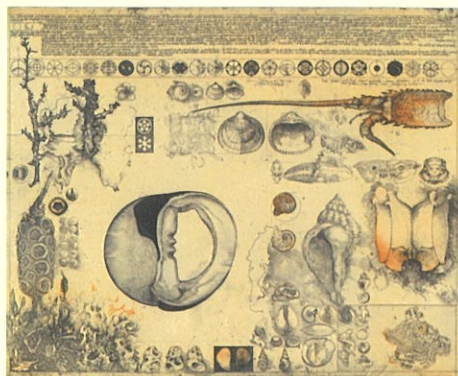
その足跡は欧米、中東、アジア、ついには南極にまで及んでいます。

シュマイサーは、ただ旅先の風景を描いた画家ではありません。歳月をかさね老いていく女性、めぐる季節のなかの清水寺、奈良の建築の随所にちりばめられた歴史と文化、自然の大胆な造形に目を奪われるオーストラリアの岩谷、漂流し崩壊しダイナミックに姿をかえていく南極の氷山。季節がめぐるたびに芽吹く新芽、アトリエ前の海岸に流れ着いた貝殻—マクロからミクロまで、シュマイサーが描くすべての底流をなしていたテーマが「変化」です。自分をとりまく世界に起こる変化を画面に捉えることに、彼は生涯をかけたのです。

日本とも深いゆかりのあったシュマイサー。2012年の逝去後、初の本格的な回顧展となる本展は、初期から晩年までの代表作を網羅した約 180 点により、その軌跡をたどります。



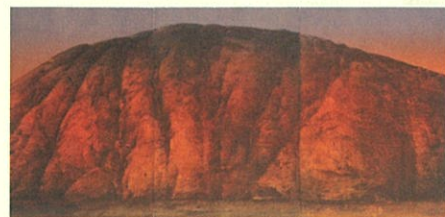
1 彼女は老いてゆく SHE GROWS OLD/SIE WIRD ALT 1967-68



2 日記と貝 Diary and Shells 1978



3 彼らはあなたを見ている They are Looking at You 1988



4 エアーズ・ロック(ウルル) Ayers Rock, Uluru 1980



5 デーヴィス基地附近 I Near Davis Station I 2000



6 イルバラ海岸のかけら BEACHBITS FROM YILPARA より、珊瑚のかけら Coral Fragment 2010-11

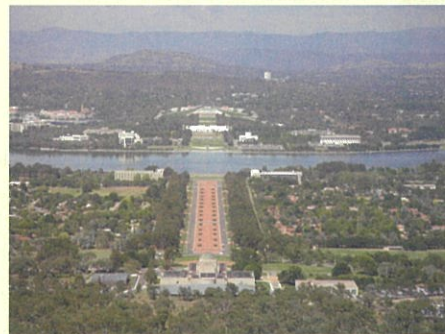
[同時開催] 当館ギャラリー 観覧無料

奈良市による連携展示

「奈良市とキャンベラ 交流の軌跡〜未来へ」

2018年10月に姉妹都市提携25周年を迎えた奈良市とキャンベラ。写真や関連の品々をととして、両市の交流の歴史〜現在を紹介しします。

お問い合わせ先:奈良市観光戦略課(TEL:0742-34-1965)



エインズリー山からのキャンベラの眺望

作品画像:1,2,5,6 個人蔵 3,4 町田市立国際版画美術館蔵 ©Keiko Schmeisser

[関連イベント]

※ミュージアムコンサート以外は要観覧券
※詳しくは美術館までお問合せ下さい

・講演会「シュマイサーと日本」

5月5日(日)14:00~15:30

講師:黒崎彰氏(版画家)

会場:レクチャールーム 定員80人

・特別ギャラリートーク

「シュマイサーの作品から見た南極」

5月4日(土)14:00~15:30

講師:橋田元氏(国立極地研究所准教授)

会場:レクチャールーム 定員80人

・ワークショップ「メディウムを使った凹版画体験」

4月29日(月・祝)13:00~15:00(各回60分程度)

講師:松井亜希子氏(版画家)・野嶋草氏(版画家)

会場:レクチャールーム 各回定員15人(当日受付)

・美術講座「シュマイサーと奈良」

講師:深谷聡(当館主任学芸員)

5月26日(日)14:00~15:30

会場:レクチャールーム 定員80人

・ギャラリートーク

4月27日(土)、5月18日(土)、6月1日(土)

各日14:00~(60分程度) 会場:展示室

担当:当館学芸員

・体験コーナー「シュマイサー作品と一緒に写真を撮ろう」

・ミュージアムコンサート



●近鉄奈良駅①番出口から徒歩5分
●JR奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車

奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art

〒630-8213 奈良市登大路町 10-6

TEL 0742-23-3968 FAX 0742-22-7032

テレホンサービス 0742-23-1700

[ホームページ] <http://www.pref.nara.jp/11842.htm>

[Facebook] <https://www.facebook.com/narakenmuseum>

奈良県立美術館ファンクラブ
メール会員募集中!

詳しくは美術館 HP まで



次回展覧会予告

企画展「富本憲吉入門 一彼はなぜ日本近代陶芸の巨匠なのか」 2019年6月29日(土)~9月1日(日)